

地域のイベントで災害派遣活動をPR

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、10月21日（日）、海老名市主催の「えびな安心・安全フェスティバル」において広報ブースを出展し、災害派遣活動等のPRを行った。

ブースでは、御嶽山の過酷な環境下で救助活動に当たる隊員の写真パネルを展示し、会場に訪れた多くの方々から「これからも自衛隊には頑張ってもらいたい」という激励の声が多数聞かれた。この他、海上自衛官の制服試着や第4施設群（座間駐屯地）の支援による偵察用オートバイを展示するとともにカレーの炊き出しも行われ、「陸自カレ」に行列ができていた。

厚木募集案内所は、「今後も、隊区担任部隊と連携し、災害派遣活動等をPRしていく」としている。



海自の制服を着て記念撮影

川崎防衛協会部隊研修を支援

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 上野3陸尉）は、10月23日（木）、陸上自衛隊武器学校（土浦駐屯地茨城県稲敷郡）において、川崎防衛協会の部隊研修を支援した。

研修では、予科練（海軍飛行予科練習生）記念館で、昔の練習生の写真や手紙及び国内外の武器等を見学し、当時の練習生の心情に触れることができた。また、不発弾処理に関する説明を受け、隊員の使命感に感心していた。

研修者からは、「今後も、国の安全のため頑張ってください」という励ましの言葉が聞かれた。

溝の口募集案内所は、「今後も、協力者との密接な関係を保ちつつ、自衛隊に対する理解をより一層深めるための活動を実施していく」としている。



予科練2人像の前で記念撮影



広報展示室

秋葉台文化祭でPR

神奈川地方協力本部藤沢募集案内所（所長 藤田准陸尉）は、10月26日（日）、遠藤市民センター（藤沢市）で実施された秋葉台文化祭にブースを出展し、募集広報活動を行った。

この文化祭は、今年で41回を迎え、芸術祭・作品展示・おはなし会・各種模擬店・福祉バザーなどのイベントが行われた。広報ブースの、海上自衛隊の制服試着コーナーに行には、たくさんの方が訪れ、制服を着て記念写真に収まっていた。

藤沢募集案内所は、「今後も、このような地域密着型のイベントに積極的に参加し、地域の方々に自衛隊を身近に感じてもらおうとともに、自衛隊を仕事として選択する若い学生の獲得に繋げていきたい」としている。



海上自衛隊の制服を身にまとい
にこやかに記念写真